

講習会・バーンミーティングを開催。 暑熱対策を学ぶ



目次 Contents

良質粗飼料・良質乳合同講習会	2~3
サポート協議会	4
女性部活動	5~6
販売通信	7
学生酪農体験	8
未来牧場通信	9
営農対策情報	10
別海高校活動報告	11
理事会・乳質乳価	12
生乳課情報	13
クロスワード	14

良質生乳生産推進委員会ならびに良質粗飼料生産利用対策委員会

合同講習会

2月14日(水)に農業者団地セントラートレーニング室にて、大山乳業協同組合 今吉 正登氏を講師に迎え、良質生乳生産推進委員会ならびに良質粗飼料生産利用対策委員会の合同講習会が開催されました。今回の講習会のテーマは「アルコール不安定乳対策・暑熱対策・脂質組成について」ということで多くの組合員の皆様、関係機関の皆様が参加されました。



暑熱時の乳牛の変化として、粗飼料を食べることでルーメン発酵より熱が上がり、そのため粗飼料摂取量が低下し、その分、濃厚飼料を多量摂取するためルーメンアシドーシスが発生しやすくなります。また、乾物摂取不足によるエネルギー不足が発生し、糖が低下するため糖蜜・シヨ糖などの給与が有効となります。

高温多湿による環境ストレスは特に湿度が高いと牛にとっての不快感が上がることから換気扇の設置が重要となり、暑熱時は発汗によるミネラル不足を防止するために、ビタミン・マグネシウム給与量を従来より1.5倍〜2倍ほど増加させる必要があります。ビタミン・マグネシウム類については嗜好性が低いため冬から少量ずつ混ぜて慣らしていくことが重要とのことでした。

アルコール不安定乳の対策としては、アルコール不安定乳発生時は全頭検査を実施し発生牛が多い場合、その原因は飼養環境、粗飼料が要因であることが第一に考えられるため、早急な改善が必要となります。また、換気扇による風を牛体にしつかりあたるようにすることで、暖かい空気と冷たい空気が入れ替わり体温を下げる効果が見込まれます。設置に当たっては牛の首あたりに直接、風を当たるように調節し、風速が秒速2メートルになるようにすることで体感温度が約8.4℃下げることが出来ます。風量を確保するためには、換気扇自体の清掃も重要とのことから定期的に清掃することもおすすめです。

暑熱対策の一つとして、牛舎屋根を畜波十木材十畜波の2重構造にすることで太陽光を反射し熱を通さない構造にすることや、牛舎屋根の清掃により光の反射率を上げて牛舎内の温度を下げる効

果を得られ、更には牛体の毛刈りを行うことで発汗を促し、熱が籠らなくなり、牛体を直接冷やすソーカーシステムを同時に使用することが非常に効果的であるとの事例も紹介されました。

乾乳期については、カリウムを多く含む自給粗飼料を与えていると潜在性の低カルシウムになりやすいため、カルシウムを意識的に給与することが重要となります。その際にマグネシウムが無いとカルシウムを吸収できないためカルシウムを給与する際にはマグネシウムも同時に給与することが重要となります。

脂肪酸組成については、脂肪酸の動きをみてルーメンの健康を見ることができます。デノボの数値が全体的に低い場合はルーメンの発酵状態が不調となり、乳脂肪率も下がるため注意が必要となります。特に5月〜6月頃から下がり始める傾向にあるので注意が必要となります。

夏は乳脂肪低下の原因となるため不飽和脂肪酸（リノール酸）の給与は控えて、オレイン酸・パルミチン酸をどちらも含有しているサプリメントによってボディコンディションが維持できるとのことでした。

講習後の質疑応答では、牛乳の風味についても質問され、体細胞が高いと渋味が強くなり、乳糖が減ることと甘味が減ります。また、夏の乾物摂取量を増やす方法についての質問については、多量給与と粗飼料の切断長を短くするなどの回答がありました。

アルコール不安定乳は様々な要因により発生することから組合員の皆様におかれましても対策に苦慮されているかと思えます。今回の講習会資料を送付しておりますのでご活用いただき、安心安全な生乳生産に役立てていただけますようお願い申し上げます。

合同現地講習会

2月15日(木)豊原地区 伊藤孝彦牧場にて大山乳業協同組合 今吉 正登氏を講師に迎え良質生乳生産推進委員会ならびに良質粗飼料生産利用対策委員会合同の現地講習会を開催しました。

最初は処理室内にて講義が行われ、ミルカー洗浄については、水槽の大きさに適した洗剤量を使用することが重要となり、洗浄時は水槽にタオルなどの不要な物があることで洗浄力が低下するため、不要なものは取り除き、ミルカーそのものをしっかりと水平に入れることで洗浄不良を防ぎ、より効果的に洗浄が可能となるため、是非実践して欲しいとアドバイスがありました。

その後、牛舎内で実際の牛の状態や換気扇等の設備を見ながら説明がされ、冬は搾乳後、パッドクに出すと寒さや積雪の状況によって横臥することが出来ず立ちっぱなしになることで飛節の腫れや、寒さによる乳頭へのダメージによって、黄色ブドウ球菌繁殖の要因となることから、舎飼いを推奨し、また、プレディッピングで揉み洗いでから乳頭清拭することが生菌や体細胞を上昇させない効果的な方法であるとの説明がされました。

換気扇については、伊藤牧場の現在の換気扇の高さが高いため、牛体に当たるように60センチくらい下げ間隔を5メートルにし、角度を30度になるように調節する事や、これから換気扇を取り付ける場合は風量調整が出来るようにインバーターが非常に効果的であるとのことでありました。また、通路の置き型換気扇は換気としては良いが暑熱対策として効果があまり感じられ

ないため、置き型で暑熱対策の効果を出す場合は換気扇の風の通り道にV字にコンパネを置くなどの工夫をすることで牛体に直接風を当たるようにして暑熱対策を行うなどの方法があるとのことと簡単に実践できる内容でありました。

多くの方に参加いただき、なかなか現地で実際の様子を見ながら聞く機会が無いのため、皆さん興味深く聞いており多くの質問が上がる活発な現地講習となりました。





中春別宮農サポート協議会 第22回 通常総会



2月19日(月)に中春別宮農サポート協議会(会長 小湊 均) 第22回通常総会が団地センター2階トレーニング室において開催されました。

開会にあたり小湊会長より挨拶があり、議長には豊原地区の伊藤孝彦さんが選出され、採決が執り行われました。議案第1号「令和5年度事

業報告及び収支決算について」、議案第2号「令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」、議案第3号「令和6年度賦課金の賦課及び徴収方法について」、議案第4号「役員の改選について」以上議案第1号から第4号まで全て可決承認されました。

今後とも会員皆様のゆとりある生活を目指し、労働力確保に取り組んでまいります。本年度も昨年同様、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年度役員は以下の通りとなっております。

監事	理事	理事	理事	副会長	副会長	会長
金子琢哉	長沼友子	原内珠美	西原晴美	高橋学	広沼力	小湊均

フレッシュミセス部会

サルモネラ症の早期発見・予防方法勉強会

有意義な勉強会となりました



フレッシュミセス
部会（部会長 細川
美幸）では2月7日
（木）に北海道根室家畜
保健衛生所、窪香菜
子氏、後藤真優氏を
講師に招き勉強会を

行いました。

サルモネラ症の発生を予防するには、農場関係者とそれ以外の人、車輛を分け関係者以外の出入りを制限すること、石灰帯を設置し農場、畜舎の出入り口での消毒を行うこと、防鳥ネットを設置し野生鳥獣の侵入を防止すること、導入牛を3週間程度の隔離と検査を実施すること等を行うことでサルモネラ症侵入を防止することができるということです。また、農場内でサルモネラを増やさないために牛舎内の清掃・消毒を定期的に行い、飼槽の残飼を完全に除去して水槽も清潔に保つ必要があります。牛舎周辺の増殖を防止するためには待機所やパドック等、牛が集まる所をしっかりと乾燥させたり、ハッチ周囲の水はけを改善することが重要となります。また、最初の感染牛を素早く発見することが重要であり、群から離れている個体は調子が悪い可能性があるので要注意です。下痢以外にも、元気がない、熱がある、餌の食いが悪い、乳量が減った等の症状がある牛を見つけたら速やかに獣医師へ診療を依頼することが大切とのことでした。

令和3年度と
令和4年度のサ
ルモネラ症発生
状況は、令和3
年度が延べ9農
場、令和4年
度が延べ74農場
と8・2倍増加
しており過去最
多となっていま
す。気象庁の過
去の気象データ
を比較してみ

ると、令和4年度は令和3年度と比べて夏の気温が高い、降水量が多い、日照時間が短いというサルモネラが増殖しやすい気象条件だったそうです。サルモネラ以外の病気も多かったことから、牛群全体が弱っていたためにサルモネラ症が爆発的に広がってしまったのではないかとということがわかりました。

また、管内の臨床獣医師へサルモネラ発生農場と非発生農場に関して複数項目のアンケートを行った結果、特に差が大きかったのは野生動物の侵入の有無、飼槽・水槽の清掃状況についての項目であり、野生動物の侵入が多く、飼槽・水槽の状況が悪い農家ではサルモネラ症の発生リスクが高くなっていることがわかったそうです。説明をしていただいた後は参加者より疑問点や環境改善についての質疑応答がなされました。



助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

Y o n g w o m e n ' s D i v i s i o n

各部会・グループ反省会

活動報告等を行いました



女性部各部会・グループの反省会を行い、それぞれ活動報告と収支報告を行いました。
反省会終了後は美味しい食事を囲みながら話に花を咲かせ、終始賑やかな雰囲気の中令和5年度最後の行事が終了しました。



手足の体操

手足の指つば 刺激体操で 脳生き生き

健康生活研究所所長●堤 喜久雄

今回は、手足の指を動かし、つばを刺激する体操をご紹介します。

手は脳とつながる神経細胞が多く、第2の脳と呼ばれます。末梢（まっしょう）神経が多く通う指先を動かしてつばを刺激すると、脳への血行が促進され、脳の働きが活発になるといわれています。

足指のつばも同様に刺激すると体全体の巡りが良くなります。

手足の指はどちらも左右均等に動かしましょう。右手は言語や計算など論理的思考をつかさどる左脳、左手は直感などイメージや芸術性に関わる右脳と関係があるとされます。

仕事や勉強を始める前に行うのもお勧めです。普段から手足の体操を取り入れ、脳を活性化させましょう。

手足の指のつばを刺激



- (1) 爪の生え際のつばをイタ気持ち良い程度の強さでつまむように押し、ぐりぐりと揺らしながらもみほぐします。親指から小指まで順に10回ずつ行いましょう。
- (2) いすに座り、太ももの上に反対の足の足首を乗せ、足の指先のつばをもみほぐします。親指から小指まで順に10回ずつ行い、時間があれば指の関節や付け根も、もみほぐしましょう。
- (3) 足を組めないときは、片方のかかとで反対側の足指の爪先をこすって刺激します。

ポイント

体調に応じて、すっきりするまで3～5セット繰り返しましょう。

農業者年金で安心・豊かな老後を

～ 農業者の老後は国民年金だけでは不安です ～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方



◎**積立方式**だから自分がかけた金額は年金として**生涯もらえます**。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は**いつでも変更**できます。(月2万円から6万7千円まで)

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の**節税**になります。

◎**政策支援**(保険料の国庫補助)が受けられます。

例：認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円(5割)補助



若い
今こそ年金
アクション!

詳しくは…「農業者年金基金」検索
<https://www.nounen.go.jp>

NOU
NEN

若い農業者の皆さん！ 自分の老後自分で守れますか？ 農業者年金なら・・・

保険料は自由に選べる!(2万円～6万7千円、千円単位)

さらに、35歳未満であれば、**1万円からでも加入可能!**

認定農業者で青色申告者等には、

国庫補助で手厚い支援!

1万円の自己負担で2万円の積み立てが実現!

自ら支払った保険料は、**全額社会保険料控除の対象!**

その他にも、**税制面で優遇措置がある!**

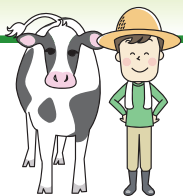
※農業者年金に加入できる方の要件は以下の通りです。

- ・年間60日以上農業に従事している方で、
- ・国民年金第1号被保険者(60歳未満)又は、
国民年金の任意加入者(60歳以上65歳未満)

※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ!



問い合わせ先 JA中春別 営農振興課 TEL 0153-76-2241



酪農体験

マイナビ農林水産フェストにて着席した大学生の方1名、神奈川県立中央農業高等学校の学生2名が訪れ、それぞれ酪農ヘルパー同行研修・農家実習を行いました。

大 学 生

2月16日～22日 1名受入



酪農ヘルパー同行研修を行い、研修中は哺乳や搾乳等の作業を体験しました。研修中は、作業をしている中で疑問に思ったことをヘルパー職員に質問するなど、積極的に学ぼうとする姿勢が見られました。「祖父母が鹿児島で和牛を飼育していたので手伝ったことがあったが、牛舎は臭いというイメージが強かった。北海道の牛舎はさほど臭く



なく、イメージが変わった。また、牛がすごく大きくて驚いた」と、とても良い体験となったようでした。

神奈川県立 中央農業高等学校

2月14日～19日 2名受入



農家実習を行い、給餌や搾乳等の作業を体験しました。2名は8月にも酪農体験に来ており、夏とは違う北海道の景色にワクワクしているようでした。ロータリーパーラーでの作業に「目が回る」と慣れない様子でしたが、実習終了後には「楽しかったので、農家実習をしにまた来たい」と、とても良い体験ができたようでした。

モンベリアード牛が無事雌仔牛を出産

酪農研修センターで飼育していたクロスブリーディング牛（ホルスタイン種×モンベリアード種）が、令和5年12月17日無事雌仔牛を分娩しました。

厳寒期の分娩であり、当初から難産を心配していましたが、介助することなく、元気な雌牛を分娩しました。この度の分娩仔牛は、交雑種にエアシャー種の雌雄判別精液を交配し、初回授精で受胎しました。

母牛は分娩後70日を経過し、生産乳量は2回目の検定で37kg（初回検定34kg）と、順調に産乳しており、乳成分は脂肪率3.47%、蛋白率3.49%、無脂固形率8.59、体細胞数5千/ml



と、純血のホルスタイン種より低い数値ですが、初産牛としては順調に産乳量を確保しています。

繁殖については、分娩後60日のフレッシュチェックでは、子宮、卵巣の回復も順調で、間もなく初回授精を試みます。

また、分娩仔牛も順調に成長し、徐角も済み間もなく離乳期

を向かえ、育成配合と乾牧草を元気に摂取しています。性格は人懐っこく、扱いやすい仔牛のようです。





1 春耕期予報

気象庁の長期予報（1月23日発表）によると、これから先3ヶ月間の傾向として、気温は平年並～高い傾向80%、降水（雪）量は平年並となっています（図1）。平年に比べ今年は融雪が早まる可能性があります。

気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)		低い(少ない)	←	平年並	→	高い(多い)
気温	北海道地方	02月～04月	20	40		40
		02月	20	40		40
		03月	30	30		40
		04月	30	30		40
降水量	北海道 オホーツク海側	02月～04月	30	40		30
		02月	30	40		30
		03月	30	40		30
		04月	30	40		30

図1 気象庁発表による春耕期予報（気象庁HPより）

2 施肥時期のポイント

根室管内の主体であるチモシー主体草地の場合、融雪後の施肥時期が早いほど有穂茎数が多く、収量性も高くなります（図2）。「萌芽期」の平年値は根室管内南部で4月20日、同北部で4月25日ですが、今後の気象経過によっては早まることが予想されます。

萌芽期のめやすとしては、ほ場全体の4～5割で新芽が出て草地全体にうっすらと新緑が見られるタイミングです。意識的には場観察し、適期施肥に備えましょう。

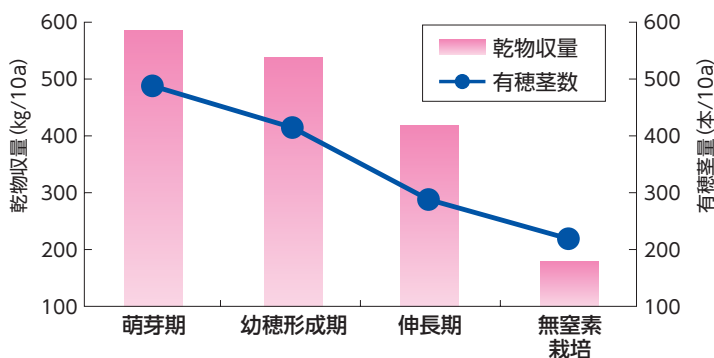


図2 早春の施肥時期がチモシー1番草乾物収量に及ぼす影響（根釧農試、1986）

3 放牧開始の時期は

冬季間舎飼いでいた搾乳牛を放牧地に出す際には「慣らし運転」が必要です。成牛の場合、ルーメン微生物が放牧草に対応できるまでに10日程度必要とされています。放牧開始時期を早めることで放牧馴致ができ、スプリングフラッシュへの対応にもなることから、放牧地の草丈が10cm程度（5月上旬頃）になったら早めに放牧できるよう準備しましょう。

4 越年草対策

昨年は秋まで高温が続いたことから、最終番草刈取後に牧草が伸長したほ場が多いと思われます。ほ場の茎葉残さと雪の有無を比較した調査では、雪と茎葉残さがある場合は地温が保持され、気温の影響を受けづらいことが分かります（図3）。そのため越冬性の低い草種を利用する場合は刈り残すことがプラスの効果につながることも考えられます。

一方で、翌年の一番草サイレージの不良発酵など品質への影響も懸念されます。温暖化の影響により今後も同様の傾向が想定されることから、将来的に以下のような対応が必要となる可能性があります。

- ✓ 3番草の収穫（原物収量0.7 t/10a以下だと経済的合理性が低い）または掃除刈りの実施
- ✓ 草地更新の際にチモシー中生品種（2回収穫を想定）またはオーチャードグラス、アルファルファ等の導入検討（3回収穫を想定）

各農場の自給飼料畑面積や収穫体系、飼料給与形態等に合わせた経営者判断が求められます。

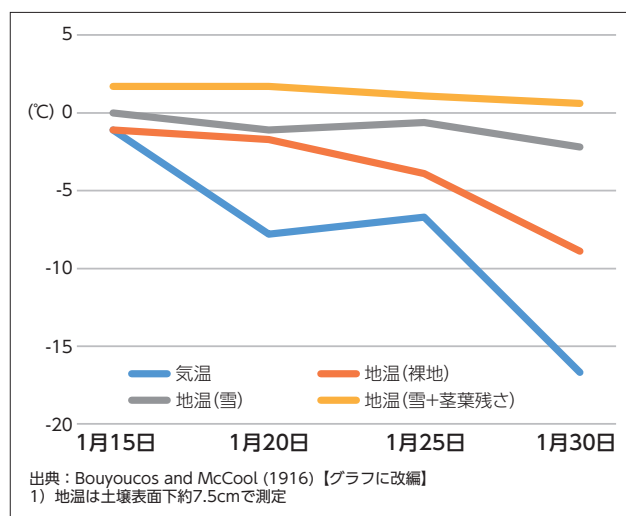


図3 地温に及ぼす雪と茎葉残さの影響



北海道別海高等学校

酪農経営科・専攻科だより

3月号

●【酪農経営科】上西春別小学校との交流ー

2月9日(金)に上西春別小学校の3年生13名が、酪農経営科の見学に来てくれました。

見学は2班に分かれ、トラクターの乗車体験と、乳製品加工班の「チーズができるまで」の説明を聞いてもらいました。

乳製品加工班の2年生 梶原悠成さん(中央中出身)は「今回、上西春別小学校の3年生の皆さんにチーズができるまでの授業をしてみて、最初はみんな緊張をしていたけど、途中からはスムーズに授業ができていたと思います。少しでも興味を持ってくれたら嬉しいです。」と振り返ってくれました。

●【酪農経営科】専攻班活動紹介ー

●乳牛研究班

今年度は、低温乾燥気候を利用した子実用トウモロコシの調製方法に関する研究をテーマに活動しています。新体制になり、2年生2名、1年生4名の計6名で活動しています。デントコーン収穫後の現在は、乾燥機を使用せず、道東の乾燥気候を利用した凍結乾燥中です。水分含有量も順調に減少しています。来春の結果が楽しみです。



乳牛研究班

●乳製品加工班

乳製品加工班は、別海町産の生乳を使ったチーズやヨーグルト等の乳製品を製造しています。今年度は、チーズの製造技術を向上させるために、製造練習に多くの時間を使いました。製造した乳製品は、産業祭等のイベントで販売しているのでぜひお買い求めください。



乳製品加工班

●地域資源活用班

別海町の新しい資源循環型農業の確立を目指して、家畜排せつ物の利用だけでなく、別海町の名産であるホタテの貝殻も併用した農作物、家畜飼料の生産について研究、栽培比較実験・費用調査・運搬方法の検討を行っています。



地域資源活用班

●【専攻科】第2回特別教育活動ー

12月22日(金)、特別教育活動として食事会で串揚げを楽しみました。

学生はそれぞれ豚肉やエビなど好みの具で串を作り楽しんでいました。また、食事会を通して自家の状況やお互いの経営に対する考えを話し合いながら舌つづみを打っていました。

学生からは「飲食店以外で串揚げをするのが初めてだったので新鮮な感覚で楽しかったです。また、串に具を刺しすぎて油に浸らないことや火を通しすぎてしまうなど失敗することもありましたが楽しい時間を過ごすことができました。」と感想がありました。



食事会の様子

●【専攻科】研究活動発表会ー

2月8日(木)、研究活動発表会を実施しました。学生は「自分の家の牧場における乳量・乳質・繁殖成績などの経営に関わること」、「牛乳消費拡大を目指したレシピ開発」、「現場作業への順応速度について」、「酪農コンサルタントとして携わっている牧場の経営分析」について発表を行いました。

講師の方々から有意義な質疑やあたたかいアドバイスがあり、今後の研究活動を進めていく上でのヒントをいただくことができました。

北海道農政部生産振興局技術普及課 酪農試験場技術普及室 上席普及指導員 齊藤 博昭 様より「2年目学生の皆さんはこれまで研究されてきたことを修了した後も取り組んでいき経営改善につなげてほしいと思います。基礎研究を終えられた1年目学生の皆さんは今年度研究されたことをより深く探求し、1年後にまたその成果を聞けることを楽しみにしています。」と講評をいただきました。



発表会の集合写真

●【専攻科】第8回酪農技術現地研修会ー

2月1日(木)、別海消防署訓練係 渡部 和徳様、山崎 佑樹様を講師としてお招きし、ロープワークについて講義していただきました。

講義では、ロープの種類と性能や取り扱い方法について詳しく説明を受けた後、もやい結びや巻き結びなど現場で使われるロープワークを学びました。

学生からは「牛を柵に保定するもやい結びやトラック結びなど、身に付けることができたので、酪農現場で活用していきたいと思います。」との感想がありました。



ロープワークの様子

第12回 理事会の動き

令和6年2月27日(火)

報告事項

- 令和5年度12月末定期監査講評について
- 組合員の加入について
- 組合員の脱退について
- 令和5年度1月末決算見通しについて
- 令和5年度自己査定12月末仮査定結果について
- 令和5年度決算棚卸実査について
- 令和5年度1月末営農関連実績について
- 令和5年度飼養管理施設長期有効活用整備事業に係る実績報告について
- 特定疾病感染状況について

議案

- 令和6年度理事報酬額の諮問（案）について
- 定款の一部変更について
- 令和6年度内部監査実施計画（案）について
- 組合員・利用者本位の業務運営にかかる取組方針（案）について
- （株）なかしゅんべつ未来牧場に係る資金の貸付について
- 固定資産の取得について

- 車両リース契約について
- 令和6 営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
- 令和6 年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る資金の借入・貸付について（機械導入事業）
- 令和6 営農年度クミカン暫定取引について
- 乳用牛確保対策事業の実施要綱（案）について
- 乳用後継牛確保対策事業の実施要綱（案）について
- J A農業経営ステップアップローンに係る融資要項の拡充について
- 乳用牛確保対策支援事業（案）について
- 固定資産の処分及び譲渡について
- 特定疾病感染補償互助会の支払について
- アルコール不安定牛による血液検査の実施について

協議事項

- 食料安全保障の強化と持続的な北海道酪農・畜産の確立に関する組織討議について

1月乳質乳価一覧表

			単 価 (円)	算 出 基 礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)
乳 脂 肪 分			1104.270		46.43	40.14	6.29
無 脂 乳 固 形 分			701.305		62.46	53.90	8.56
生 産 者 補 給 金			7.0475		7.05	6.70	0.35
集 送 乳 調 整 金			2.1491		2.15	2.10	0.05
補 給 金 合 計			9.1966		9.20	8.80	0.40
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	318,605,989.1	3.74	3.78	-0.04
		ランク2	0	11,578,409.1			
		ランク3	－ 3	212,557.7			
	体細胞数	ランク1	2	296,695,707.7			
		ランク2	1	16,572,636.4			
		ランク3	－ 2	5,543,549.2			
合 計					121.83	106.62	15.21

1月生乳受託実績表

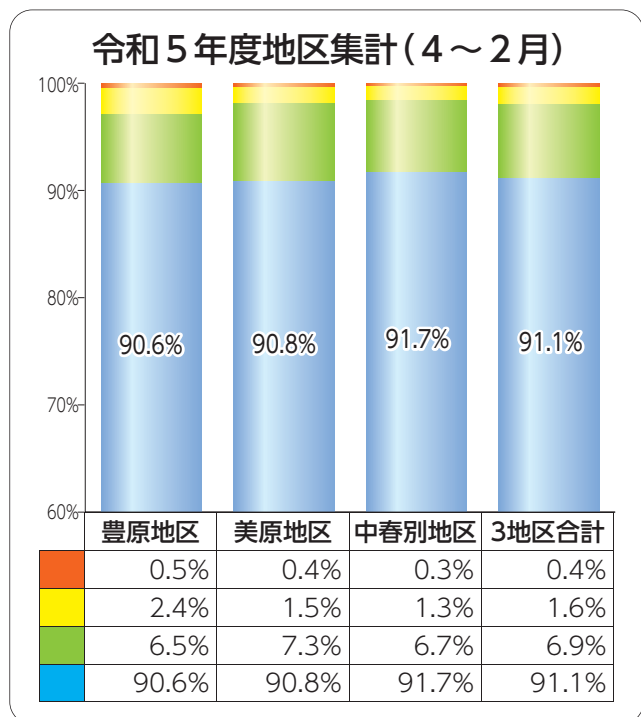
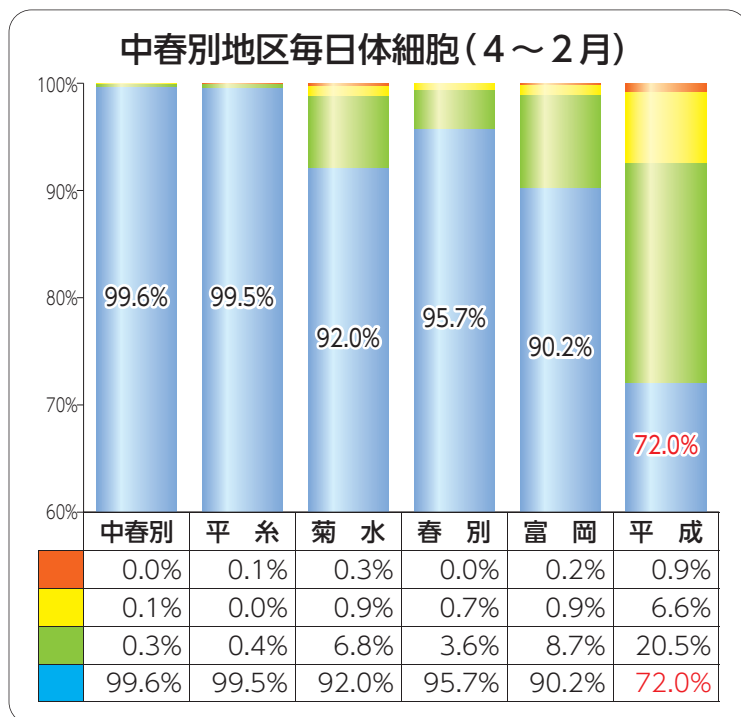
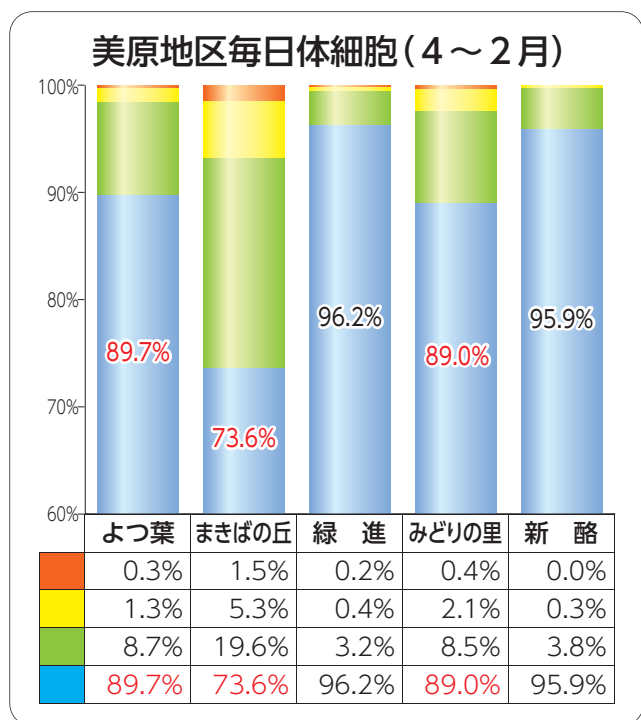
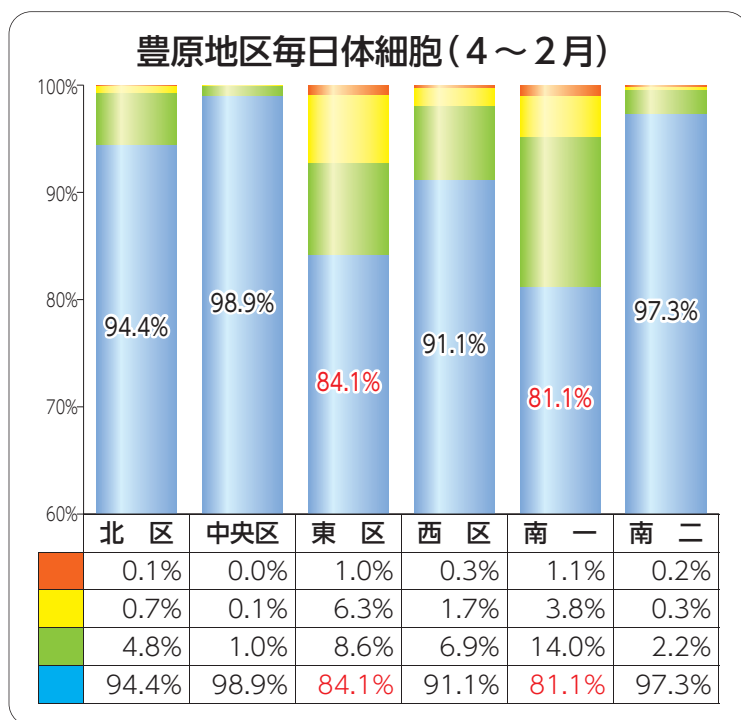
項 目		単価(円)/(kg) %
乳 脂 肪 分 ①		46円43銭
無 脂 乳 固 形 分 ②		62円46銭
生 産 者 補 給 金 ③		7円05銭
集 送 乳 調 整 金 ④		2円15銭
脂 肪 率	全道	4.20%
	農協	4.29%
無 脂 固 形 分 率	全道	8.91%
	農協	8.88%
成 分 乳 価 (①+②+③+④=⑤)	全道	118円09銭
	農協	118円85銭
乳 質 乳 価 ⑥	全道	3円74銭
	農協	3円64銭
乳 代 合 計 ⑤+⑥	全道	121円83銭
	農協	122円49銭
	差異	0円66銭

豊原	美原	中春別	全体計
83.7%	92%	82.2%	85.6%

令和6年2月29日現在	JA中春別発生	管内合計件数
抗菌性物質混入事故	2件	7件
生菌による汚染事故	0件	0件
異物混入、加水、血乳による汚染事故	1件	5件
異臭、異常風味による汚染事故	1件	1件

家族や従業員と協力して
搾乳後わずか10分で
ミルクドクターを!!

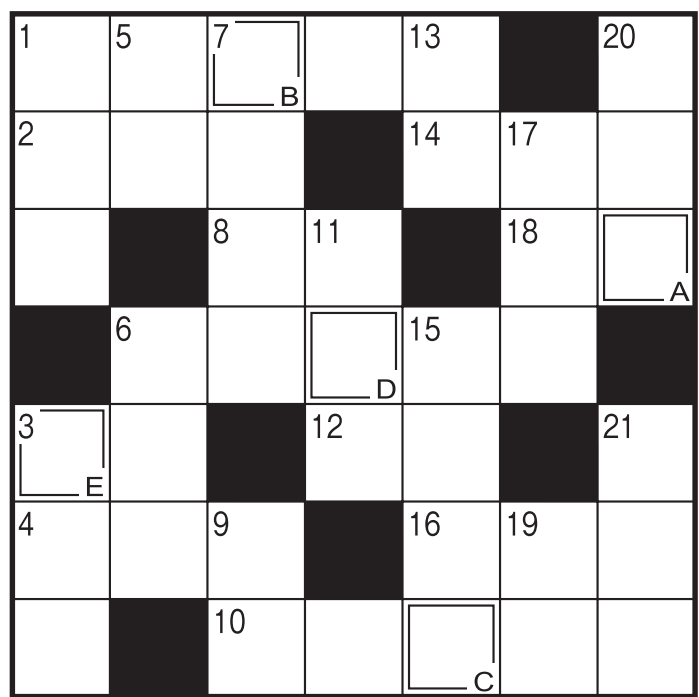
良質生乳生産推進委員からの標語



凡例: 50.5万以上 40.5~50.4 30.5~40.4 30.4万以下

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



正解者の中から抽選で3名の方に乳製品引換券をプレゼント（郵送）いたします。

《応募方法》 営農振興課宛にFAX(76-2341)でご応募ください。

《応募締切》 令和6年3月29日(金)まで

※ご住所・応募者のお名前を必ずご記入ください。記入漏れがありますと、抽選対象から外れる場合もございますのでご注意ください。

※ご応募に関して取得した個人情報はこの度の景品の抽選以外には使用いたしません。

3月号のこたえ

住所 〒
名 前
電話番号

返信先: JA中春別 FAX76-2341 (営農振興課宛)

抽選で3名の方に
乳製品引換券
(今月号では「スライスチーズ」と引き換え!!)
をプレゼント!!



ヨコのカギ

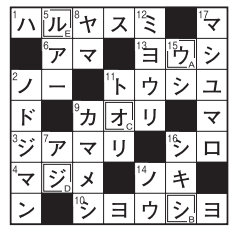
- 1 冬がウインターなら、春は
- 2 天ぷらやフライに付けられています
- 3 煮物を作るときにすくうこともあります
- 4 水中をふわふわと漂う生き物
- 6 平面は2次元、立体は
- 8 桃太郎がきび団子を着けていた場所
- 10 入学式で胸に着けるお母さんもいます
- 12 メジロやヒヨドリが吸うもの
- 14 関東——、——裁判所
- 16 漢字で書くと土筆。春の山菜です
- 18 オンの反対語

タテのカギ

- 1 ゴルフプレーヤーがカードに記録します
- 3 眠いときに出来ます
- 5 アマではありません
- 6 お花見といえばこの花
- 7 テレビやエアコンの操作に使います
- 9 お酒は飲めません
- 11 みそ汁の具にしてもおいしい二枚貝
- 13 ストレスがたまるとこぼしたくなることも
- 15 ダブルプレーともいいます
- 17 湯が冷めないよう——ポットに入れた
- 19 当たりかな、外れかな
- 20 山梨県の県庁所在地である市
- 21 馬に乗る人のこと

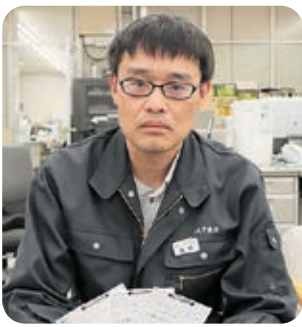
2月号の正解は

A B C D E
ウ シ オ ジ ル
でした



当選者発表

たくさんの応募ありがとうございました。
第17回は塩崎純也管理課長に抽選して頂きました！



- ・小 貫 千 夏
- ・花 岡 も も
- ・眞 下 彩 来

(敬称略)